

丹波中学校だより

# 清流の辺

せいろゆう の ほとり



No.10

平成29年10月27日(金)

文責：丹波中学校長 志村雅巳

周囲の山々も色づきはじめ、新たに丹波山の素晴らしさに感激している今日この頃です。

## 丹菅音楽祭開催！

「読書の秋」、「スポーツの秋」、「食欲の秋」と秋にはいろいろありますが、中学校では10月27日(金)に丹波山地区・小菅地区の小中学生が集って行う丹菅音楽祭が丹波中学校体育館において盛大に開催されました。今年度で52回を迎え、各校とも取り組んできた成果を出そうと思いの限りを曲に乗せ演奏していました。また、特別演奏としてトランペット奏者の守岡美央さんをお迎えし演奏していただきました。



守岡さんは3歳から9歳までをこの丹波山村で育ち、武蔵野音楽大学を卒業後、東京フィルハーモニー交響楽団等で活躍、現在は洗足学園ニューフィルハーモニック管弦楽団員として活躍しております。



## 丹波中学校 創立記念日



来る11月14日(火)は学校創立記念日今年度で創立70年を迎えます。

昭和22年、日本国憲法・教育基本法の影響を受けて六・三制の新しい義務教育制度が実施され、丹波山村にも丹波山中学校が設置されました。学校沿革誌や過去資料によりますと、終戦直後の混乱期ということもあり、学校は、5月5日に宝蔵寺を借用し教科書や学用品もないまま新制中学校としての第一歩を踏み出し5月14日に1年生、9月27日に2.3年生が宝蔵寺から青年会館に移転し中央を幕で区切り二教室で授業を行ったと記録にあります。



創立から2年後、現在地に新校舎が落成しています。

昭和28年9月1日、鴨沢分校が鴨沢中学校として独立したことにより丹波中学校と改称し現在に至っています。

木造校舎を一新し、昭和51年1月24日、鉄筋校舎の竣工式・校旗樹立式を行い、翌年52年に11月14日を学校創立記念日に制定しました。過疎化や出生率の低下のため児童・生徒が減少し



昭和58年3月19日、鴨沢中学校は閉校となり、4月1日より丹波中学校へ吸収統合しました。また、当時は、生徒はもちろんのこと村中の人々が交代で校庭の整備をしたり、年に2回春と秋には農繁休暇が有り子供たちは家の仕事を手伝ったりと、よく働いていた様子がうかがえます。

ただ、今も昔も変わらないことは自然と温かい人柄が財産だということです。創立記念日は、学校はお休みとなります。これを機会に子供たちに昔の話などを話してあげてください。